

※本資料は、現地時間2009年7月20日にドイツ・ハノーバーで発表されたプレスリリースの参考訳です。  
万が一英文原文と意味合いが異なる部分がある場合には英文が優先されます。

## コンティネンタル、2009年上半期暫定数字を発表 黒字の事業経営実績により強い経営力を強調

- 自動車産業サプライヤー、銀行と合意した財務契約条項を遵守
- 厳しい財政状況は、継続して下半期においても主な課題に
- 上半期の売上高約 90 億ユーロ、マイナス 32%
- 6ヵ月後の調整後\* EBIT (金利・税引前利益) 2 億 4,870 万ユーロ

ハノーバーに本社を置くコンティネンタル AG (以下、コンティネンタル) は、自動車業界に現在生じている危機の最中、確固とした強い事業経営実績をあげています。国際的自動車サプライヤーのコンティネンタルは、前年同期と比較して市場誘導型の減少が続いているにもかかわらず、2009年第2四半期の暫定数字に基づくと、調整後\* EBIT は、2 億 8,300 万ユーロの確実な利益を計上しました。2009年第1四半期におけるコンティネンタルの調整後\* EBIT は、マイナス 3,430 万ユーロでした。第2四半期において報告された EBIT は、3,880 万ユーロで、この時点で既に黒字に転じています。コンティネンタルは、貸方銀行と合意した第2四半期末時点での財務契約条項を遵守いたしました。

「非常に厳しいビジネス環境下におかれていることと、将来が不確実であることから生じている現在の経済低迷にもかかわらず、コンティネンタルは事業経営目標をしっかりと達成した。会社創立以来、最も広範囲にわたるコスト削減政策、GM 及びクライスラーからの売掛金勘定の管理、及び弊社を取り巻くビジネス分野において、継続して生じている非常に困難な市場環境に取り組む為の厳しく一貫性のある対応策によって、益々良好な事業経営実績を示している。」月曜日 (7月20日) にハノーバー本社で開催された2009年上半期の暫定数字の発表の席で、コンティネンタル会長 カール＝トーマル・ノイマン (Dr. Karl-Thomas Neumann) は、このように述べました。ノイマンは2008年9月から始まった危機以降、コンティネンタルが世界各国において約 16,000 名の従業員を削減せざるを得なかったことも加えて説明しました。

「さしあたり多少市場が上向きに転じたものの、全てが解決したというわけではない。2009年下半期以降、ビジネス環境はコンティネンタルにとっても部品サプライヤー全体にとっても、依然として大きな課題となり続けるだろう。特に大幅に減少した売上高を基に営業利益を改善させている為、緊縮財政状況下において弊社の経営力の強みだけに依存することは近視眼的な考え方である。」

暫定数字に基づくと、2009年上半期の**連結売上高**は、前年同期の数字に比べると90億6,320万ユーロまで減少しました (2008年上半期: 132億5,400万ユーロ)。この減少の一部は、クライスラーの5月及び6月の予期せぬ生産の全面停止による市場の低迷に起因しています。2009年第2四半期の売上高は、47億6,120万ユーロとなり (2008年第2四半期: 66億1,460万ユーロ)、従って、第2四半期の売上高は、第1四半期と比べ約4億6,000万ユーロ伸びています。2009年上半期の**連結 EBIT** は、マイナス1億2,620万ユーロまで下落しましたが (2008年上半期: 9億1,240万ユーロ)、第2四半期の EBIT は、売上高が依然として落ち込んでいるにもかかわらず、第1四半期の EBIT より2億ユーロ以上の改善をはかり、3,880万ユーロを記録しました。

調整後\* EBIT は、オートモーティブグループの第2四半期の損益分岐点も超えました。「第1四半期と比較して大幅に赤字を削減させたパワートレイン部門及びインテリア部門における厳しいコスト削減につ

いて細心の注意を払う必要がある。」と、ノイマンは強調しました。ラバーグループの EBIT は、素晴らしい実績を継続、2009 年上半期の調整後\* 連結 EBIT は、2 億 4870 万ユーロとなり (2008 年上半期: 11 億 8,370 万ユーロ)、損益分岐点よりかなり上の黒字幅を記録しました。2009 年第 1 四半期の修正後の連結 EBIT が、マイナス 3,430 万ユーロであったのに対し、第 2 四半期は 2 億 8,300 万ユーロの黒字に転じました。現金の流動性、現金等価物及び遊休信用限度額は、上半期後も継続して安定しています。

「第 2 四半期の重要な数字には、コンティネンタルの組織のバランスがとれていて、経営戦略も良好であることが明確に示されている。全体的に経済トレンドにあまり左右されないラバーグループは、大幅な利益をあげており、信頼性の高い資金繰りの確保に貢献している。同時に、オートモーティブグループでは将来の重要なビジネスを獲得している。」とノイマン会長は説明しました。「2009 年 8 月及び 2010 年 8 月に期限を迎える金融負債を考えると、中長期的に適切な財政措置を伴ったこのような強固な体制により、防衛手段を講じることは依然として大変重要なことと考える。」とノイマンは述べました。

社員への書簡において、ノイマン会長及び取締役会メンバーは、大変厳しい環境下における社員の多大なる尽力とコミットメント、特に数カ国で 6 月の給与支払いの数日遅れの対象となった従業員に対しては、彼らの理解に対して、感謝の意を述べました。「このようなステップをとらずに、確実に財政契約を遵守できるかどうか不明確な時点で、弊社はこれらの予防策を講じることとなった。実際には、報酬の支払いを遅延させることなく契約は遵守できたということが判明した。今回のような通常では取り得ないような措置を講じたことに対し、従業員の理解に心より感謝したい。」と書簡には述べられていました。

コンティネンタルの 2009 年上半期の財務報告書の内容は、7 月 30 日に公表される予定です。ノイマンは、コンティネンタル取締役会が、将来の様々な事業経営シナリオを監査役会に 7 月 30 日に提出すると強調し、「コンティネンタルの将来についての明確な方向を定める決定は、次回の監査役会においてなされると想定している。」と述べました。

#### コンティネンタルコーポレーションについて

コンティネンタルコーポレーションは 2008 年に 240 億ユーロ以上の売り上げを達成し、自動車部品サプライヤーの世界 5 位に入るサプライヤーです。ブレーキシステム、パワートレインやシャシー向けのシステムおよびコンポーネント、クラスターメーター、インフォテインメント・ソリューション図、車両電子機器、タイヤ、工業用エラストマーのサプライヤーとして、安全走行の強化および地球規模での環境保護に貢献しています。コンティネンタルはまた、ネットワーク化自動車間通信の優秀なパートナーでもあります。世界 35 カ国 190 以上の拠点に約 13 万 3000 人の従業員を擁しています。

注:\* PPA の無形資産償却前、連結範囲の変更、及び 2009 年に全世界で展開したコスト削減計画による解雇手当を含む特殊事情による調整

#### 本件に関するお問い合わせ先

コンティネンタル・オートモーティブ株式会社

コミュニケーションズ

吉田 理恵

Tel: 045-444-3692

Fax: 045-444-4618

communications@continental-corporation.com

Online media database: [www.mediacenter.continental-corporation.com](http://www.mediacenter.continental-corporation.com)